

四條畷市まちづくり長期計画（教育施設を含む）
策定に向けたまちづくり意見交換会〔第5回〕

- 日 時：平成26年10月2日(木)19:00～
- 場 所：グリーンホール田原 なるなるホール
- 出席者：12名

<質疑応答>

- ・説明にありましたが、自身は16人のクラスで学び、育った経験上、学校規模が大きいからといって良いとは限らないと思います。それは大人の都合であり、小規模校を悪とする考えはやめていただきたい。小規模校でも健全に育ってほしいと思いますので、その考えは再考していただきたい。

学校が防災避難場所として指定されていることは良いことであることから、学校を集約するのではなく分散すべきであると考えられます。

まちづくり長期計画として、田原地区は買い物難民でもあり、まちづくりとして田原地区も検討に加えていただきたい。

また、このような計画については、財政面も含めて説明してほしい。学校のみならず周辺も含めたまちづくりを計画していただきたい。

また、市民の足となるような交通手段も併せて検討をお願いします。

⇒小規模学校についても少人数の中で助け合いながら学び合うことは非常に良いことであるが、今の環境は昔に比べ異年齢と遊ぶ機会が少ないなど、子供たちが触れ合う機会が少なく、またクラス替えができないまま6年間を過ごすなどといった問題もあると言えます。こういった様々な問題が解決できるよう教育環境を検討していきたいと考えています。

⇒まず、学校の体育館を拠点として位置づけされている施設については、なるべく体育館は残していきたい。次に東高野街道について、バスが通行する中で歩道がなく危険である。道の拡幅や歩道の整備を大阪府と協議しながら一定の改修計画を立てていきたいと考えております。次に交通手段について、西部地域では東西南北とも約2kmといった範囲であることから、交通手段については歩行で行き来できる範囲と認識しております。

⇒田原小中学校について、今後の考え方としては1小1中であり、小中の連携が非常にしやすい環境でもあり、現在も交流の場として運動会や文化会など行っている。また、教員同士の交流も現在行っており、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えている。また、施設面については老朽化に対する改修も必要になると考えられることから、中期的には検討していきたいと考えている。

⇒田原地区では近商ストアが撤退し、アカカベが立地したが、本来は食料品を扱わない

業種ではあるのですが、様々な要望もあり、十分とは言えないが現在アカカベでは食料品も扱っていただいている。空家の問題も予測される中で高齢者でも住み続けていただけるよう努めていきます。買い物をフォローできるような訪問販売など具体的にお示しすることができないが、他の事例も含めて検討していきたいと思います。

⇒財政面については特に短期について今年度お示しできるよう検討いたします。中長期については具体的な計画までは示しておらず、概略の内容とはなるが検討していく方針です。

- ・施設の再編は必要と思われます。跡地利用の活用検討について、畷小と市民活動センター、市役所の移転などもう少し具体的に示していただきたい。

⇒集約化について、畷小もしくは総合センター跡地に市役所を配置する案や総合センターと市役所を併せるなど流動的なものではあるが、今後検討し、活用方法も含めて具体化させていく方針です。

- ・そもそもこのような計画がなぜ生まれたのか？補助金が入るのか？財源が心配である。長期的なまちづくり計画であり壮大な計画であることから、中期計画には田原地区も含めていただきたい。交通網も課題でありながら検討がなされていないと思われます。

⇒長期計画については、公共施設の老朽化が進んでおり、一部では改修し、延命化を図っているところである。しかし、同じ時期に改修すると財政的に無理があることから、少子高齢化の中、集約化を図り学校再編とまちづくりをセットで検討することとなりました。これは四條畷市だけでなく、日本全体の抱える問題でもあり、ハードソフトの両面で施策を出していきたいと思っています。

⇒費用面について、短期計画については今年度中には検討を行い、示したいと考えています。学校数を減らしながらもいいものを作りたいと考え、PFI や PPP といった手法により民間のノウハウと活かしながら建設や維持管理の費用支出を15年くらいで分割するなどといった検討を事業化検討パートナーと進めていきたいと考えています。

⇒道路では、都市計画道路が2路線あり、忍ヶ丘砂線については完成しており、雁屋畑線については一部が完成している状況である。長期的な計画には含めていく方針であり、交通渋滞の緩和だけではなく、防災面も考慮した都市計画道路や生活道路の改修を順次対策を講じていきたいと考えています。

- ・防災拠点として位置づけるのであれば、バランスの取れた学校配置が必要と考えられます。PFI 手法では、弁天町や南港など大赤字となっているケースがあるが、四條畷市民が負担することとならないのか？

⇒学校配置については、2年前に東小と南小を廃校しようと提案したが様々な意見を頂いた上で、JR と国道 163 号を基軸に考え、地域を分断することなく配置をいたしました。

た。また複数学級を確保できるよう小学校の再編案を示しています。

⇒PFI手法はあくまで一つの手法であり、PFIありきで進めている訳ではありません。従来通りの手法で整備した場合も含めて検討する方針です。様々な手法の中で市民に負担が少ないよう取り組んでいきたいと考えています。

⇒生活基盤全般について、現在及び今後の課題として、医療施設なども含め柔軟にまちづくりについて事例や費用面も含めて検討していきたいと考えています。

- ・田原地区ではまちづくり協議会があり、買い物難民等について民生委員がアンケートを取るなど取り組みを行っており、行政がどれだけ支援してくれるかである。市民も頑張っているため、行政も支援をお願いいたします。

(以上)